

ペットボトル自動回収機をセブン-イレブン店舗に設置！

セブン&アイ・ホールディングスでは、2015年12月4日（金）より、コンビニエンスストアでは初めて江東区のセブン-イレブン店舗にて、環境省の実証実験の一環としてペットボトル自動回収機を設置し、廃ペットボトルをリサイクル資源として国内循環させる仕組みを開始いたします。

このシステムはペットボトルの国内循環推進に向け、店頭で回収されたペットボトル資源を効率よく運び、国内でリサイクルする一貫したシステムです。

現在、セブン&アイグループの株式会社イトーヨーカ堂、株式会社ヨークベニマル、株式会社ヨークマート、各社店頭にて292台（260店舗）のペットボトル自動回収機を設置しており、年間約4,000トンのペットボトルを回収し再利用、一部セブンプレミアムのパッケージなどに商品化しています。今後はセブン-イレブン店頭など設置できる店舗を増やし、回収されたペットボトルを利用して、セブンプレミアム商品などの容器に活用し循環型モデルを拡大していく計画です。

- 運用開始日 : 2015年12月4日（金）～
- 設置店舗 : セブン-イレブン江東区内の店舗（セブン-イレブン江東枝川2丁目店）
- 協力 : 環境省、株式会社トムラ・ジャパン（ペットボトル自動回収機メーカー）
株式会社木下フレンド

